EXEA®

取扱説明書

E114JM ロングサイドバー

ご使用の前に下記の注意と警告事項を必ずお読みください。
お客様への危害並びに財産への損害を未然に防ぐための内容を記載しております。 FX-1

星光産業の新製品情報や役立つ情報などが満載
星光産業株式会社ホームページ
https://www.seikosangyo.co.jp

製品に関するお問い合わせは星光産業サービスセンターへどうぞ
TEL(048)984-1290(直通)
月曜日-金曜日(祝日を除く) 9:00-12:00 13:00-17:00

クルマにもっと自分らしさ……
星光産業株式会社
SEIKOSANGYO CO., LTD.
〒342-0043 埼玉県吉川市小松川 561-1
JAAMA 全国自動車用品工業会会員

⚠ お取付け前に

- ●本製品は、スズキJimny(JB64W系)・Jimny SIERRA(JB74W系)の専用品です。
- ※本製品は、調査日2024年12月現在の車種に適合します。調査日以降にマイナーチェンジした車には使用できない場合があります。
- ※本製品は車種専用ですが、製品や車両の個体差により、装着が多少きつい場合や緩い場合があります。
- **●本製品を取付けたことで車検不適合となる場合があります。車検の際は本製品を取外してください。**
- **●金属製パイプを使用しますので作業には十分ご注意ください。※取付けは2人以上で作業されることをお勧めします。また必ず手袋をしてから作業を始めてください。**
- **●必ずすべての部品を説明書通りにお取付けください。サイドのみ、またはリヤのみの取付けではパイプ端部がむき出しとなり大変危険です。絶対におやめください。**
- ●本製品取付けにより、リアのルームランプは照射範囲が狭くなります。ご了承ください。
- ●本製品を取付ける前に、必ず設置場所の確認と取付け場所を清掃してください。
- ●脱着可能な後席シートベルトを収納してから取付けてください。
- ●本製品の取付けにはドライバー/内張り剥がし/コンベックスなどが必要です。
- ●経年車やボディに歪みがある場合には安定した取付けができない場合があります。
- ●指定位置以外の場所には絶対に取付けないでください。

⚠ 注意と警告

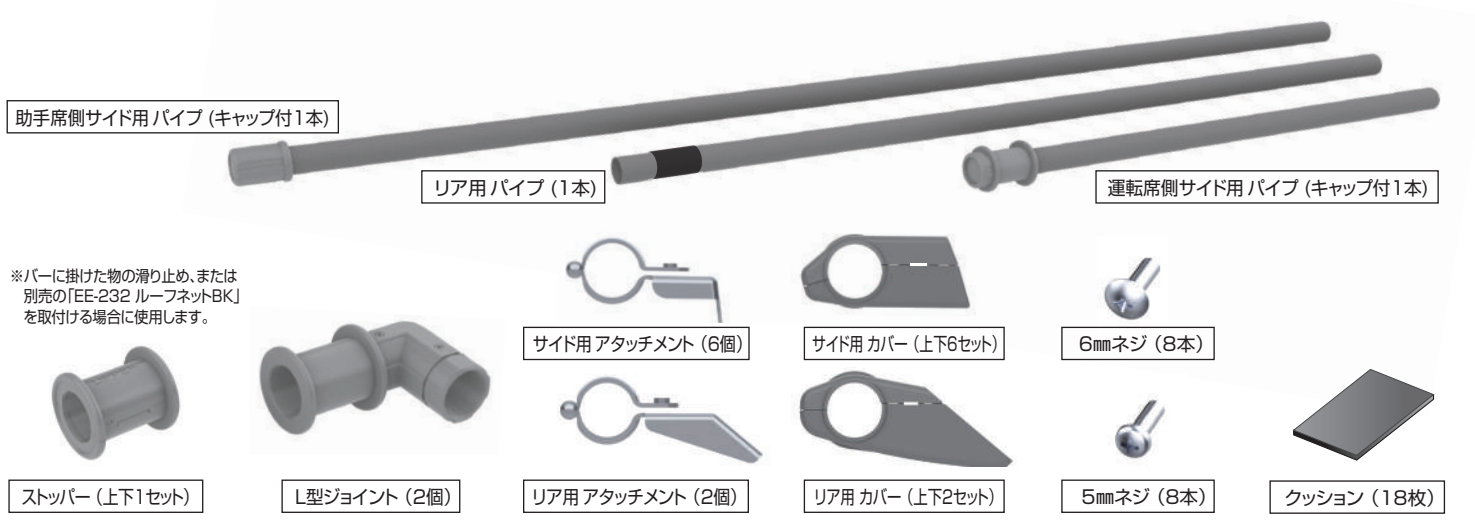
- ●本製品は、道路交通法および関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくお取付けください。
- ●取扱説明書以外の設置は絶対にしないでください。
- ●本製品を取付けの際は、必ず各部品が固定されているのを確認してください。固定が不十分だと、落下や破損し大変危険です。
- ●使用するときは毎回点検を行い、構造部材の変形や破損、異常が無いか確認してからご使用ください。
- ※異常を感じたときは使用しないでください。破損や事故、けがの原因となります。
- ※ガタツキがあればネジの増し締めをしてください。
- ●本製品を取付け・使用の際、車両側に使用前との変化が生じた場合の故障、損害(破損・キズ・変色・跡など)は弊社では責任、補償を負いかねます。
- ●走行時は危険なので本製品に何も吊るさないでください。(別売のEE-232 ルーフネットBKを正しく使用している場合を除く) エアーバッグが作動する際、安全・正常に機能しなくなるおそれがあります。また、急ブレーキや加速で、吊るした物が揺れたり落下すると大変危険です。絶対におやめください。
- ●耐荷重はリアパイプの警告ステッカーに記載されています。安全にお使いいただくため厳守してください。
- ●本製品に無理な力や衝撃を与えないでください。本製品や車両側が破損する場合があります。
- ●本製品はアシストグリップとしてはご使用できません。
- ●端に片寄った荷重をかけないでください。長時間バランスの悪い状態では、車両側が変形・破損する場合がありますのでご注意ください。
- ●大変危険なので、絶対にぶら下がったり、端部分を故意に引っ張ったりしないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。
- ●エンドキャップやカバーを外した状態で使用しないでください。金属部品がむき出しになると大変危険です。
- ●耐熱・耐候性に優れた素材を使用していますが、炎天下での高温や経年劣化などにより形状が変化する場合があります。
- ●金属部の錆の原因となりますので、濡れたり水気を帯びた場合は、そのまま放置せずに拭き取って乾燥させてください。
- ●本製品は自動車専用です。他の用途にはご使用になれません。
- ●本台紙記載のご注意に従わない場合や、誤った取付・分解・改造をされた際の事故・故障・破損につきましては、弊社では一切その責任を負いかねます。

全体

運転席側とリア

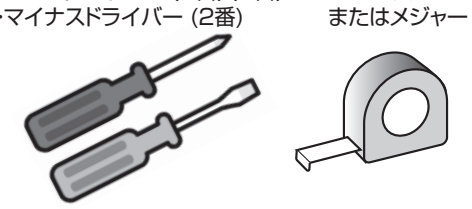
助手席側

部品一覧 ※必ずすべての部品が揃っていることを確認してから取付作業を始めてください。

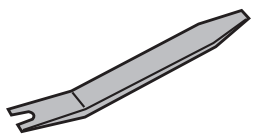


必要工具

- ・プラスドライバー (2番)(3番)
- ・マイナスドライバー (2番)
- ・コンベックス またはメジャー



- ・内張り剥がし (リア内装のクリップを外します)

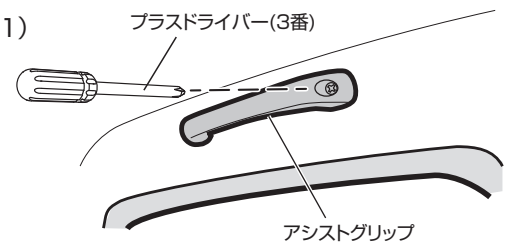


取付け前の準備

アシストグリップの取外し

(図-1)

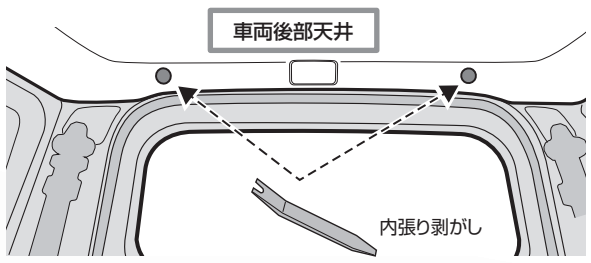
- ●両側サイドパイプを取付けるため、助手席側前後(2か所)と運転席側後ろ(1か所)のアシストグリップをプラスドライバー**(3番)**で取外してください。
- ※取外したアシストグリップは無くさないよう保管してください。



リア内装クリップの取外し

(図-2)

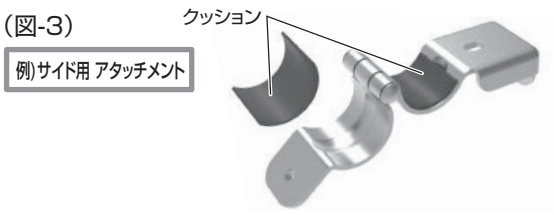
- ●リアパイプを取付ける車両後部天井のクリップ(2か所)を内張り剥がしで取外してください。
- ※キズがつかないようご注意ください。
- ※取外したクリップは無くさないよう保管してください。



クッションの貼付け

(図-3)

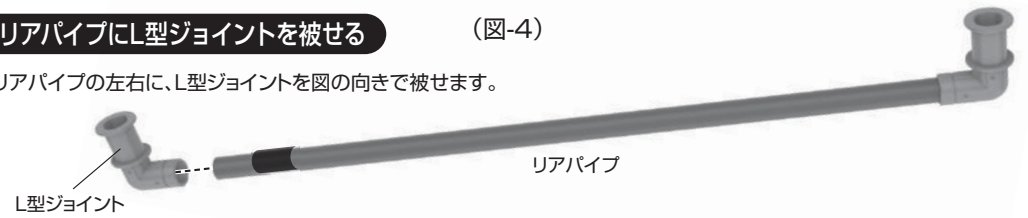
- ●サイド/リア用の各アタッチメント内側にクッションを貼ってください。(8セット分/16枚)



リアパイプにL型ジョイントを被せる

(図-4)

- ●リアパイプの左右に、L型ジョイントを図の向きで被せます。



リア用パイプの取付け ※必ず以下の順番にお取付けください

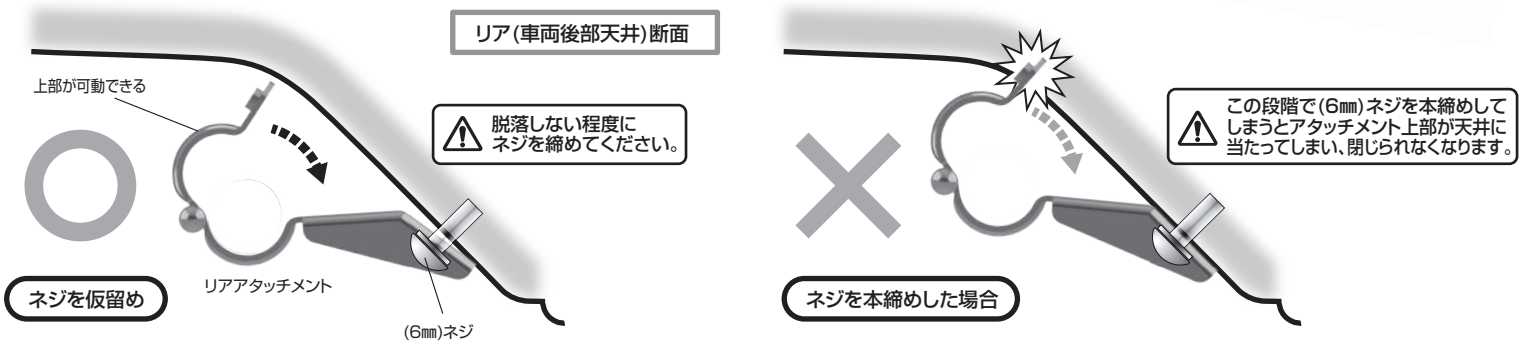
リア用アタッチメントの仮留め

- ●アタッチメントに(6㎜)ネジを通して、プラスドライバー(3番)でお車に仮留めします。(2か所) (図-6)
- ※パイプを載せるため、アタッチメント上部を開いた状態でネジを仮留めしてください。
- ※脱落しない程度にネジを締めてください。
- ※サイド用とは形状が違いますのでご注意ください。

リア用パイプとアタッチメントの固定

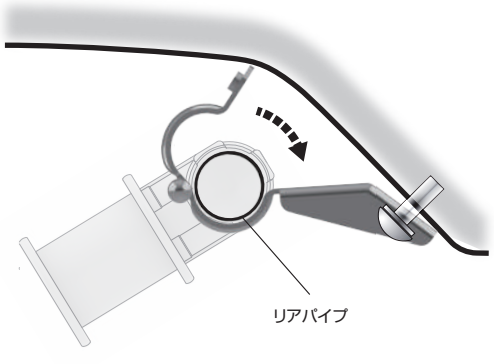
- ①アタッチメントにパイプを載せ、アタッチメント上部でパイプを挟みます。(図-6)
- **※この段階ではアタッチメントは仮留めのため不安定な状態です。載せたパイプが落下すると大変危険なので十分注意して作業してください。**
- **②仮留めしたアタッチメントの(6㎜)ネジを増し締めしてお車に固定します。**(2か所) (図-7)
- ※お車への締付けトルクの最適値は3.5N·m(約0.35kgf·m)です。
- ③パイプは警告ステッカーとアタッチメントの端同士を目安に左右位置を調整してください。(図-7)
- **④左右を調整後、アタッチメントの下から(5㎜)ネジをプラスドライバー(2番)で締めてパイプを固定します。**(2か所) (図-8)
- ※パイプ固定の締付けトルクの最適値は2.5N·m(約0.25kgf·m)です。

(図-5)



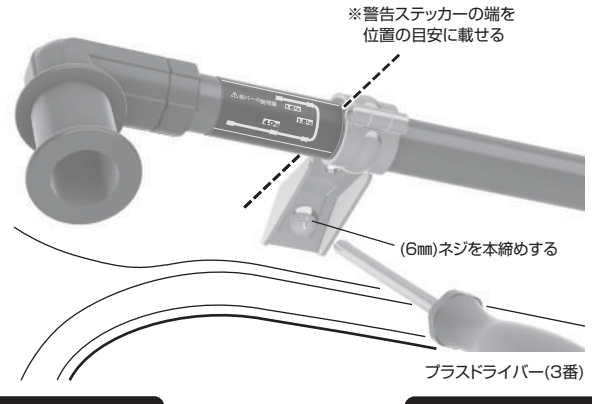
アタッチメントにパイプを載せる

(図-6)



アタッチメントを車体に固定

(図-7)



パイプの固定

(図-8)

⚠ この段階では仮留めで不安定な状態です。載せたパイプが落下すると大変危険なので十分注意して作業してください。

⚠ 確実にネジを締めてください。緩みがあると大変危険です。

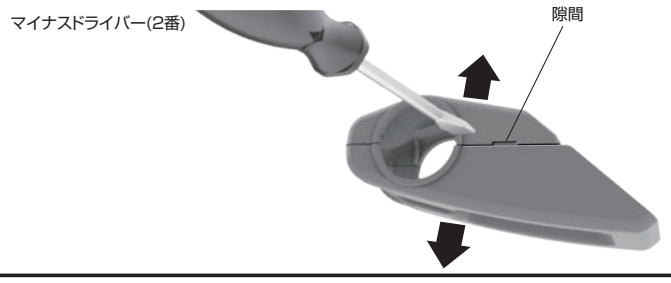
裏面に続きます

おもて面から続きます

リア用カバーの取付け

①マイナスドライバーでカバーの隙間をこじって、上下に分解してください。(図-9)
②カバーをアタッチメントの上下から嵌め合わせて取付けます。(図-10)
※リア用とサイド用の形状の違いにご注意ください。
※それぞれのツメが確実に嵌っていることを確認してください。(図-10)

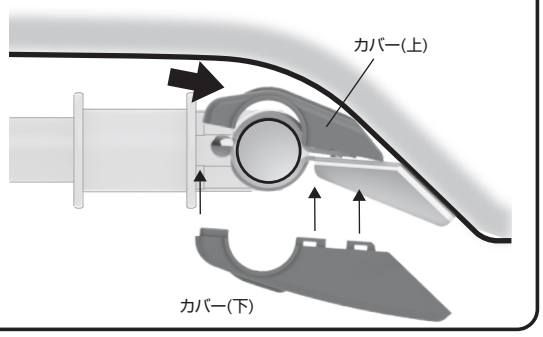
カバーの分解 (図-9)



カバーの組立て (図-10)

●カバー(上)を大矢印の方向から被せる
●カバー(下)を下から嵌める
※5か所のツメを嵌めます

⚠ 必ずカバーのツメが、確実に嵌っていることを確認してください。



サイド用パイプ (助手席側 / 運転席側) の取付け

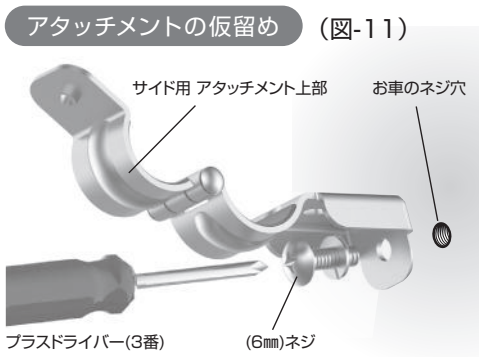
サイド用アタッチメントの仮留め

●アタッチメント上部を開き、(6㎜)ネジを通して、プラスドライバー(3番)で仮留めします。(6か所) (図-11)
※パイプを載せる際に調整が必要なので、後席はガタつかない程度にネジを締めてください。(図-12)
※ただし助手席の天井は低いです。アタッチメント上部をあとで閉じられるよう、脱落しない程度にネジを締めてください。(図-12)
※リア用とは形状が違いますのでご注意ください。

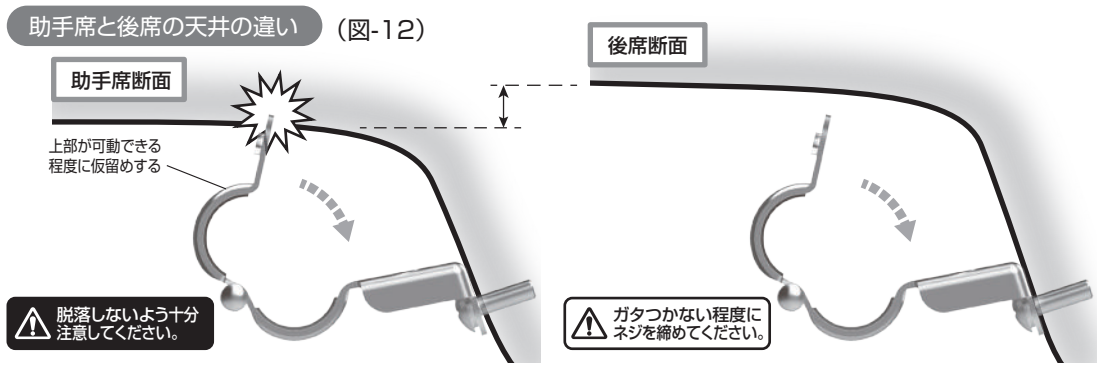
サイド用パイプとアタッチメントの固定

※【助手席側】から取付けます。
※作業中にパイプが落下すると大変危険です。必ず片側ずつ取付けてください。
①パイプをアタッチメント(4か所)に載せ、アタッチメント上部でパイプを挟んでください。(図-13)
②助手席上の(6㎜)ネジをガタつかない程度に増し締めしてください。(図-13)
③パイプ後端をL型ジョイントに差込んでください。(図-14)
※パイプを無理なく挿入できるよう、L型ジョイントの位置を合わせてください。(図-14)
④パイプ後端がL型ジョイント奥の当たる位置まで挿入してください。(図-15)
⑤パイプを固定するため下から(5㎜)ネジをプラスドライバー(2番)で締めて固定します。(図-16)
※パイプ固定の締付けトルクの最適値は2.5N·m(約0.25kgf·m)です。
⑥仮留めした各アタッチメントの(6㎜)ネジを増し締めしてお車に固定します。(図-17)
※お車への締付けトルクの最適値は3.5N·m(約0.35kgf·m)です。
※同様の手順で【運転席側】を取付けてください。

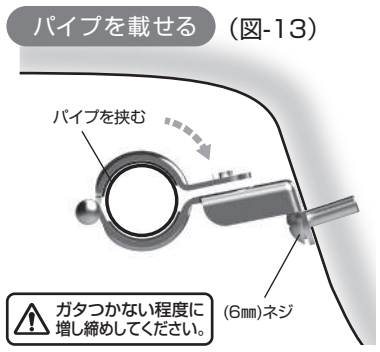
アタッチメントの仮留め (図-11)



助手席と後席の天井の違い (図-12)

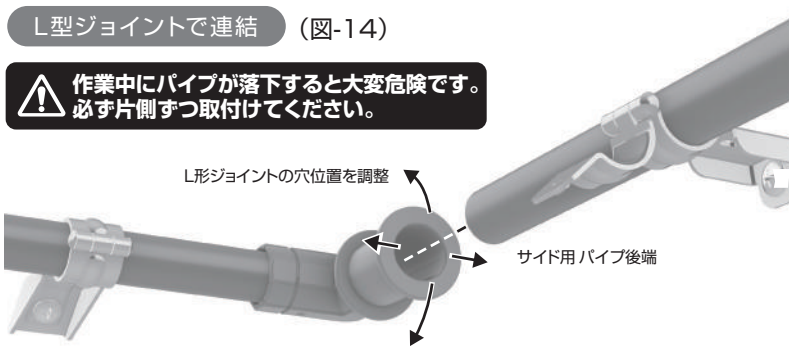


パイプを載せる (図-13)

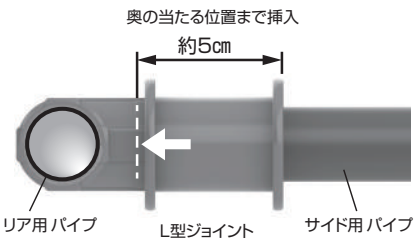


L型ジョイントで連結 (図-14)

⚠ 作業中にパイプが落下すると大変危険です。必ず片側ずつ取付けてください。

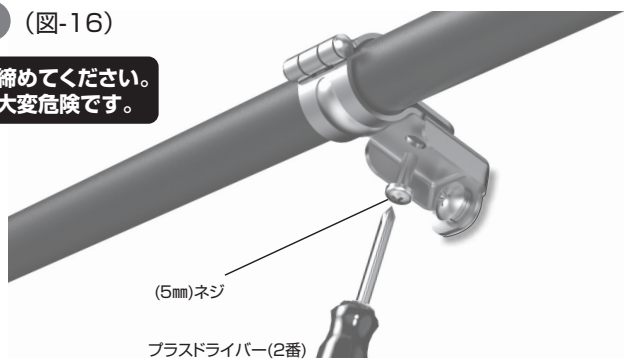


パイプを奥まで挿入 (図-15)



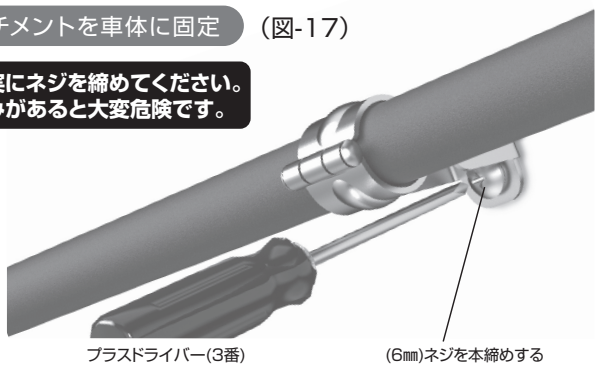
パイプの固定 (図-16)

⚠ 確実にネジを締めてください。緩みがあると大変危険です。



アタッチメントを車体に固定 (図-17)

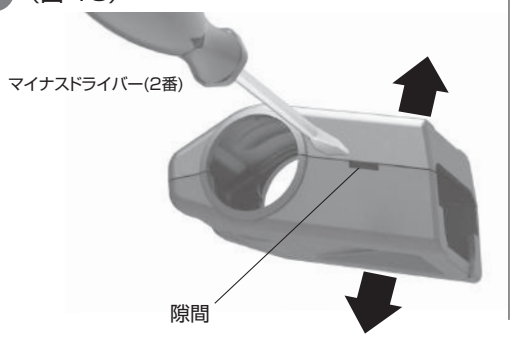
⚠ 確実にネジを締めてください。緩みがあると大変危険です。



サイド用カバーの取付け

①マイナスドライバーでカバーの隙間をこじって、上下に分解してください。(図-18)
②カバーをアタッチメントの上下から嵌め合わせて取付けます。(6か所) (図-19)
※リア用とサイド用の形状の違いにご注意ください。
※それぞれのツメが確実に嵌っていることを確認してください。(図-19)

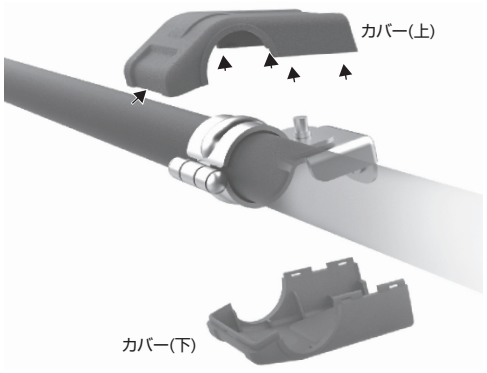
カバーの分解 (図-18)



カバーの組立て (図-19)

①カバー(上)を大矢印の方向から被せる
②カバー(下)を下から嵌める
※5か所のツメを嵌めます

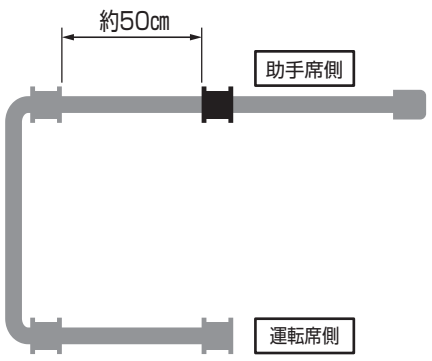
⚠ 必ずカバーのツメが、確実に嵌っていることを確認してください。



ストッパーの取付け ※必要に応じてお取付けください

●パイプに掛ける物が移動しないように、任意の位置にストッパーを取付けできます。
※別売の「EE-232 ルーフネットBK」を取付ける場合は、ストッパーを助手席側サイドパイプの図の位置に取付けてください。(図-20)
①マイナスドライバーで隙間をこじって分解してください。(図-21)
②それぞれの内側にクッションを貼ってください。(図-22)
③位置が決まったら、必ずパイプの上と下から(UPPER/LOWER)の表記通り嵌め合わせて取付けてください。(図-23)
※確実にツメ(4か所)が嵌っていることを確認してください。

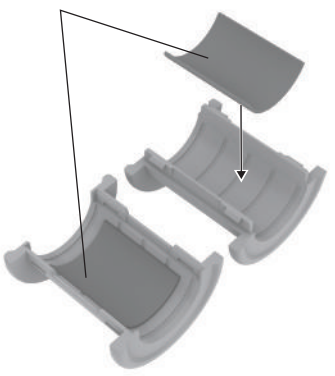
EE-232 ルーフネットBK を取付ける場合 (図-20)



ストッパーの分解 (図-21)

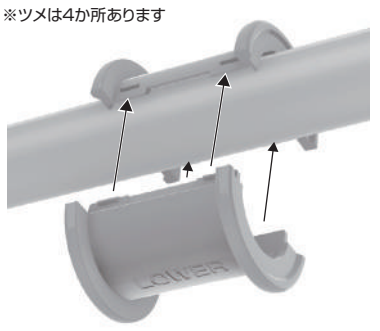
クッションの貼付け (図-22)

※内側にクッションを貼ってください



ストッパーの分解 (図-23)

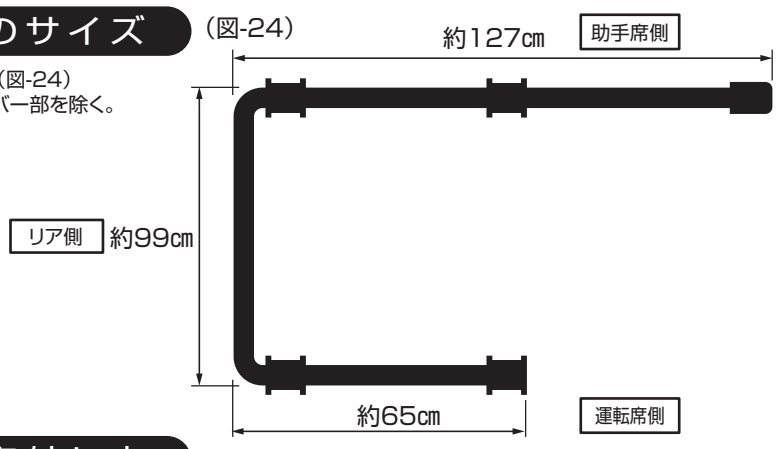
※ツメは4か所あります



⚠ 「LOWER」が下になります。

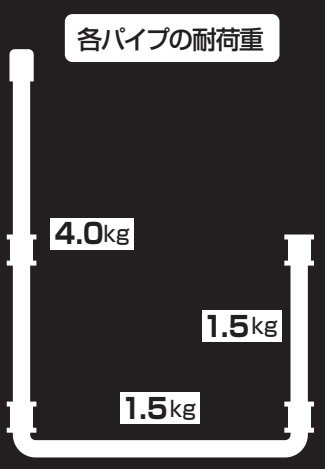
取付状態のサイズ (図-24)

●目安にしてください。(図-24)
※各アタッチメントやカバー部を除く。



本製品の取外し方

●本製品の取付手順の逆順で取外してください。
※大変危険なのでパイプや金属部品の落下には十分ご注意ください。

⚠ 警 告

●走行時は絶対に何も吊るさないでください。エアーバッグが作動する際、安全·正常に機能しなくなるおそれがあります。また、吊るした物が乗員や窓ガラスに接触して大変危険です。
●アシストグリップとしてはご使用できません。
●耐荷重はリアパイプの警告ステッカー記載の重量を厳守してください。重量物は絶対に吊るさないでください。
●極端に片寄った荷重をかけないでください。
●大変危険なので、絶対にぶら下がったり、故意に端部分を引張ったりしないでください。 とくに小さなお子様にはご注意ください。
●エンドキャップ、カバー類を外した状態で使用しないでください。金属部品がむき出しになると大変危険です。
●使用前に点検し、ガタツキがあればネジの増し締めをしてください。